

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専修大学北上福祉教育専門学校
設置者名	学校法人北上学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
教育・社会福祉 専門課程	保育科	夜・通信	48 単位	6 単位	
	福祉介護科	夜・通信	1830 時間	160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

授業担当者の実務経験については、シラバスに記載し学生に示している。
一覧表は、学校ホームページにシラバスと共に公表している。
<https://kitakami-fukushi.ac.jp/overview/overview4/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専修大学北上福祉教育専門学校
設置者名	学校法人北上学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

インターネットで公表 https://kitakami-fukushi.ac.jp/overview/overview4/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元北上市長	2022. 6. 1～ 2025. 5. 31	助言・調整
非常勤	(学)専修大学常務理事	2022. 6. 1～ 2025. 5. 31	助言・調整
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専修大学北上福祉教育専門学校
設置者名	学校法人北上学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業担当者は、各科目のシラバスを作成し、教務部が取りまとめている。内容について、学内会議で検討を行った上で冊子にして、毎年4月にシラバスを発行している。学生には4月の教務ガイダンスにおいて全体的なことを説明し、各科目については、授業内でシラバスを用いて授業方法及び内容、到達目標、授業計画、評価方法を説明している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学内者には冊子を配付。また、学校ホームページで公表。 https://kitakamifukushi.ac.jp/overview/overview4/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各科目のシラバスに記載された成績評価の方法・基準のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行っている。評価は、A(80～100点) B(70～79点) C(60～69点) 不合格(59点以下)の四段階とし、単位及び履修時間の認定は、試験結果に基づき、成績会議を経て認定している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価の客観的指標としてGPAを用いている。</p> <p>(A-3点、B-2点、C-1点、不合格-0点とし、全履修科目分合算し、その値を全履修科目数の合計で割っている。)</p> <p>成績会議の資料には個人のGPAを記載し、成績の分布状況の把握を図っている。</p> <p>学生には、成績証明書の他に、別紙にてGPAの数値と成績分布状況を周知している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学校ホームページで公表</p> <p>https://kitakamifukushi.ac.jp/overview/overview4/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各科のディプロマポリシーは、学生便覧や学校案内パンフレットに記載しガイダンス等で学生に周知し、またHP上で公表している。卒業認定は、ディプロマポリシーで各科に設定した能力を身に付け、学則に定めた授業科目を履修し、所定の単位を修得した者について、成績会議を経て認定している。</p> <p>《保育科ディプロマポリシー》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者として基礎的な専門知識・技術・態度を身に付け実践できる。 ・保育者として必要とされる自己表現力・コミュニケーション能力を身に付けている。 ・向上心をもって学び続ける姿勢を身に付け、自ら考え行動できる。 <p>《福祉介護科ディプロマポリシー》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる介護場面に共通する基礎的な介護の知識・技術を身に付けている。 ・円滑なコミュニケーションの取り方の基本を身に付けている。 ・他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身に付けている。 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>学校ホームページで公表</p> <p>https://kitakamifukushi.ac.jp/overview/overview4/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専修大学北上福祉教育専門学校
設置者名	学校法人北上学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://kitakamifukushi.ac.jp/overview/overview4/
収支計算書又は損益計算書	https://kitakamifukushi.ac.jp/overview/overview4/
財産目録	https://kitakamifukushi.ac.jp/overview/overview4/
事業報告書	https://kitakamifukushi.ac.jp/overview/overview4/
監事による監査報告（書）	https://kitakamifukushi.ac.jp/overview/overview4/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専門課程	保育科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	91単位	41 単位	43 単位	11 単位	0 単位	1 単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		99人	0人	6人	20人	26人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業担当者は、各科目のシラバスを作成し、教務部が取りまとめている。内容について、学内会議で検討を行った上で、冊子にして毎年4月にシラバスを発行している。学生には4月の教務ガイダンスにおいて全体的なことを説明し、各科目については、授業内でシラバスを用いて授業方法及び内容、到達目標、授業計画、評価方法を説明している。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目のシラバスに記載された成績評価の方法・基準のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行っている。評価は、A（80～100点）B（70～79点）C（60～69点）不合格（59点以下）の四段階とし、単位及び履修時間の認定は、試験結果に基づき、成績会議を経て認定している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定は、ディプロマポリシーで各科に設定した能力を身に付け、学則に定めた授業科目を履修し、所定の単位を修得した者について、成績会議を経て認定している。

学修支援等 (概要) 学生の学修状況に応じて補講や面談等の個別指導を行っている。
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
47人 (100%)	1人 (2.1%)	44人 (93.6%)	2人 (4.3%)
(主な就職、業界等) 幼稚園、保育園、認定こども園、児童養護施設、障害者福祉施設等			
(就職指導内容) 就職の意義・心構え・方法・手続き等のガイダンスを行い、学生の就職希望調査を基にした面談や求人先の開拓・紹介等、年間指導計画を作成し、学生個々に合わせた就職指導を行っている。 就職支援対策として、就職講話、小論文講座、模擬試験、面接練習、就職説明会等、具体的にイメージが醸成されるよう心掛けている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 保育科では、幼稚園教諭二種免許状・保育士資格、上級救命講習修了証を取得。			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
111人	3人	2.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス単位の担任制を取り入れており、担任及び副担任が学生の学校生活を学習面から生活面までサポートしている。定期的に個別面談を実施し、保護者との面談も必要に応じて行っている。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専門課程	福祉介護科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2070 90 単位時間/単位	758 50	862 29	450 11	0	0
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		52人	8人	4人	9人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業担当者は、各科目のシラバスを作成し、教務部が取りまとめている。内容について、学内会議で検討を行った上で、冊子にして毎年4月にシラバスを発行している。学生には4月の教務ガイダンスにおいて全体的なことを説明し、各科目については、授業内でシラバスを用いて授業方法及び内容、到達目標、授業計画、評価方法を説明している。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目のシラバスに記載された成績評価の方法・基準のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行っている。評価は、A（80～100点）B（70～79点）C（60～69点）不合格（59点以下）の四段階とし、単位及び履修時間の認定は、試験結果に基づき、成績会議を経て認定している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定は、ディプロマポリシーで各科に設定した能力を身に付け、学則に定めた授業科目を履修し、所定の単位を修得した者について、成績会議を経て認定している。
学修支援等
（概要） 学生の学修状況に応じて補講や面談等の個別指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
28人 (100%)	0人 (0%)	26人 (92.9%)	2人 (7.1%)
（主な就職、業界等） 老人福祉施設、障害者福祉施設（社会福祉法人・医療法人・株式会社）他			

<p>(就職指導内容)</p> <p>就職の意義・心構え・方法・手続き等のガイダンスを行い、学生の就職希望調査を基にした面談や求人先の開拓・紹介等、年間指導計画を作成し、学生個々に合わせた就職指導を行っている。</p> <p>就職支援対策として、就職講話、小論文講座、模擬試験、面接練習、就職説明会等、具体的にイメージが醸成されるよう心掛けている。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>福祉介護科では、介護福祉士(国家試験受験資格)、上級救命講習修了証を取得。また希望者は手話検定、レクリエーションインストラクター、日商PC検定3級を取得。</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
63人	3人	0.05%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>クラス単位の担任制を取り入れており、担任及び副担任が学生の学校生活を学習面から生活面までサポートしている。定期的に個別面談を実施し、保護者との面談も必要に応じて行っている。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
保育科	100,000 円	600,000 円	240,000 円	施設設備費、実習費
福祉介護科	100,000 円	600,000 円	280,000 円	施設設備費、実習費
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) インターネットで公表 https://kitakamifukushi.ac.jp/overview/overview4/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通じて、本校の自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。委員は5名以上とし、保護者・卒業生・地域住民・地元企業団体等関係者・その他教育に関する有識者で構成する。委員会では、教育理念・教育活動・学生支援・教育環境等について評価する。その結果を踏まえ、学内委員会で改善方策を取りまとめ、学校長は翌年度の目標設定や具体的取組に反映する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
北上市	2024年4月1日より 2026年3月31日まで	関係業界
後援会	2024年4月1日より 2026年3月31日まで	保護者
社会福祉施設	2024年4月1日より 2026年3月31日まで	企業
北上市	2024年4月1日より 2026年3月31日まで	地域
同窓会	2024年4月1日より 2026年3月31日まで	同窓会
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) インターネットで公表 https://kitakamifukushi.ac.jp/overview/overview4/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		



c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

htthttps://kitakamifukushi.ac.jp/

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H103320600014
学校名 (〇〇大学 等)	専修大学北上福祉教育専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人北上学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		26人	23人	28人
内 訳	第Ⅰ区分	15人	15人	
	第Ⅱ区分	7人	8人	
	第Ⅲ区分	4人	0人	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				28人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人
(備考)					

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。